



夏だ！プールだ！たのしいな（花園保育園）

あか *Sakawa* 議会だより

79
2019.8.1

発行 高知県佐川町議会

6月定例会

contents 目次



キレンゲショウマ

社協の介護サービス	6
産廃施設問題	8
議会懇談会報告	13
産廃施設・議会の回答	14

一般会計 6月補正予算 5,157万円の 増額補正を可決

6月定例会は、6月7日から13日までの会期で開かれました。
報告2件の後、平成31年度の補正予算をはじめ、専決承認、契約締結、意見書など議案10件を審議し採決の結果、賛成全員及び賛成多数で10件可決しました。

令和元年6月補正予算

(単位：円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	5157万	68億3,923万
国民健康保険特別会計	△43万	19億3,462万
介護保険特別会計	593万	18億3,723万
水道事業会計	132万	3億3,475万

6月定例会で決まりました

物品購入契約締結

消防団ポンプ自動車の購入

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

2816万円

(契約の相手方)

株式会社 藤島

佐川町内小中学校タブレット等導入業務

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

3115万8000円

(契約の相手方)

四国情報管理センター

株式会社

訂正

平成31年3月定例会号の当初予算の比較増減欄に誤りがありましたので、訂正をさせていただきます。

正しくは、左記のとおりです。

会計名	比較増減
一般会計	△ 3,830万円
国民健康保険事業	1億8,617万円
学校給食	△ 99万円
介護保険	3,277万円
後期高齢者医療	1,468万円



ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

一般会計補正予算

西森議員 プレミアム付商品券の委託料が5百万円計上されているが、これはどんな業務を委託するのか。また、販売する商品券の総額はいくらか。購入できる対象者はだれでいつから販売するのか。

なお、商品券の印刷に際しては、町内業者でやっってもらいたいでしょうか。

田村産業建設課長 委託する業務は商品券の印刷・販売・換金・PRなどであり、商工会に委託する。商品券の総額はプレミアム分が25%ついて9千7百50万円程度。購入できる対象者は平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれた子供のいる世帯と非課税者で約3千9百人。町内業者で印刷し、10月1日からの販売を予定。



商品券業務が委託される商工会

橋元議員 繰入金に2千9百万円あまりの増額補正が組まれているが、歳出の内容は何か。
麻田総務課長 特定財源のない事務事業について、一般財源を充当する。堀見町長 人件費と教育委員会の図書館のシステム更新への充当である。

介護保険特別会計

橋元議員 補正の原因、根拠は何か。

田村健康福祉課長 人事異動による人件費と介護保険制度改正によるシステム改修などがある。

物品購入契約の締結

西森議員 この物品購入契約は小中学校にタブレット等を購入する事業であるが、なぜこの入札に町内業者が入っていないのか。

また、これは出来上りの製品を買うのであるから、安く売ってくれば安いほうがいいと思うが、この落札率は93%（約2千8百万円）とそれほど安くはない。最低制限価格を設定したのか。

麻田総務課長 今回の入札で、コンピュータ機器の物品購入入札参加申請書を提出している町内業者がいなかった。最低制限価格は設定していない。



IT化が進む教育現場

意見書

国・県にもの申す

総理大臣をはじめ、関係機関に意見書を提出

本年度消費税10%増税廃止を求める意見書

(発議 中村議員)

景気回復を示すような経済統計上の数字はあるものの、地方都市では、好景気が実感出来ないのが実情である。このような状況下での増税は避けるべきである。いくら地方創生を叫んだところで、消費税増税で景気に水を差されたのでは元も子もない。地方の労働力が不可欠となるだけの、減税も含めた力強い景気回復が不可欠である。よって、本年度消費税10%増税を廃止すること。

6月 補正予算 ピックアップ

園芸団地整備特別
対策事業

215万円

佐川町簡易・小規模等
レンタルハウス整備事業
費補助金の増額補正。

図書館管理費

811万円

新図書館システム初期
導入委託料。

商工観光振興総務費

713万円

消費税増税に伴うプレ
ミアム付商品券事業に係
る費用。

保育総務費

188万円

幼児保育無償化に伴う
システム改修委託料。

予防接種事業

598万円

国が実施する風しんに
関する追加対策に伴う、
風しん抗体検査及び予防
接種に係る費用。



風しん予防は大事だよ！

各議員の意思表明

賛否表(令和元年6月定例会) ○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
専決処分の承認を求めることについて(佐川町税条例等の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
専決処分の承認を求めることについて(佐川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度佐川町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度佐川町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度佐川町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
物品購入契約の締結について(消防団ポンプ自動車)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
物品購入契約の締結について(町内小中学校タブレット等)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発議第1号 本年度消費税10%増税廃止を求める意見書	○	○	●	○	○	●	○	●	●	●	○	-	○	●

9人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

LINEを活用したいじめ相談

取り組むべきだ

教育長 県に対し要望活動行う

LINEを活用した、いじめ相談の取り組みが、全国の自治体で導入が具体化している。高知県においても、高校生LINE相談事業が行われている。本町でも取り組むべきだ。

川井教育長 高知県市町村教育委員会連合会の県



相談の方法も多種多様

フレイル予防

取り組むべきだ

健康福祉課長 取り組んでいきたい

加齢に伴う虚弱化を遅らせ「健康寿命の延伸」をはかるフレイル予防を進めるために、フレイル予防に関する普及・啓発、フレイルチェック講座の開催などを本町でも取り組むべきだ。

田村健康福祉課長 いきいき・かみかみ百歳体操



高齢者の方などが、ごみ集積所まで距離があり、ひとりでのごみ出しが困難になっている。個別収集などの、ごみ出し支援に早急に取り組むべきだ。

また、ごみ集積所の増設も柔軟に行い、集積所の修繕などの整備にも補助金を出すべきだ。

町長 検討し、取り組みたい

ごみ出し支援 早急に取り組むべきだ



高齢者のごみ出しは大変！



西森 勝仁 議員

加茂産廃発言

町長答弁は2枚舌か

町長 マスコミ全般として言ったこと

先の3月定例議会で、私が、高知新聞の記事を見せながら「腹をくくった」などと報じられていたが一体どうなっているのかと質問したところ、町長はマスコミは決めつけた書き方をしてあると答弁であった。

翌日の高知には「佐川

町長 新産廃報道批判」と掲載されたが町長は、あれは高知の事を言ったのではないとの事。この発言は、私を愚弄するばかりでなく議会を冒瀆するもので、問責決議にも値すると思うが、町長は本会議の答弁で二枚舌を使っのか。

堀見町長 マスコミは、答弁の最初と最後をくっつけたりして、私の真意が正確に伝わっていない場合がある。

西森議員は、高知の記事を基に質問したかもしれないが、私はマスコミ全般として答弁した。

堀見町政になって足かけ6年。この間、人口も税収もどんどん減っている中で、町の職員数だけは増え続けている。

町の税収は10億9千万。払う人件費は10億4千万。職員給料は下がることはない。もうすぐ税金だけでは足りなくなると思う。

仕事上は、退職者のほとんど全員を引き続き雇っているのではない。もうこれ以上採用すべきでないと思うがどうか。

堀見町長 役場の経営は財政面だけ考えてやるものではない。今後も仕事量にに応じて人員を増やしたり、財政が回らなくなれば全員の給料を下げたりする場合もあるかもしれない。トータルで判断し決めたい。



適正な職員数に

増え続ける町職員 もう採用すべきではない

町長 トータルで判断

訪問入浴サービス等 不採算部門に補助金を

町長 財政支援は考えていない

高い社協は、昔から地域福祉の根幹を担ってきた。町は、こうした活動のため、この5年間だけでも約1億円近い補助金を出してきたパートナーであるが、町長には何か相談があったのか。

また、今後、訪問入浴などの不採算部門を担ってくれる事業者には補助金を出してやれないか。

堀見町長 事前に相談はないが、新しい法人が今までのサービスを引き継いでくれると聞いている。財政支援は考えていない。

社会福祉協議会が6月末で訪問介護事業から撤退するとの事。公共性の



充実した介護サービスを



坂本 玲子 議員

町営住宅の使用料や敷金の減免はどうなっているか。通常、住民税非課税の世帯は減免の対象となる。減免基準を明らかにして低所得でも健康で文化的な生活が出来るよううすべきだ。保証人がいないために入居できないことがない

町営住宅

使用料等減免は

総務課長 公営住宅法に沿って

よつすべきだ。保証人についてはどうするつもりか。

また、修繕についてはどうか。

麻田総務課長 減免の基準に関しては、要項としての内規はあるが古くなっている。公営住宅法の目的に沿うよう見直しを行う。

連帯保証人に関しては、現在の2名を減ずる方向で検討している。

居室内の修繕は連絡を受けたら迅速に対応する。

公立保育所臨時職員の待遇改善を

健康福祉課長 専門職を同等に

公立保育所には正規職員が3分の1と少ない。

少なくとも担任分は正規職員とすること。

また国家資格を持ちながら、不当に安く抑えられている臨時職員の賃金を改善すべきだ。

田村健康福祉課長 正規職員は来年度、1名退職補充をする。

臨時職員の待遇改善については国家資格のある専門職等を、同等の賃金に位置づけられるよう検討していきたい。



利用しやすい町営住宅に



子どもの成長を支える保育士（永野保育所）

佐川町社協

新施設大丈夫か

健康福祉課長 特に心配してない

社協の介護部門の多くの方が辞め、訪問介護部門から撤退と聞いた。また訪問入浴事業等も撤退すると聞く。利用者は大丈夫か。

本来社協は、民間では採算のとれない事業も行うことになっていて優遇されている。社協の存在意義はどうか。

また経験者がいなくなった今、新しくつくる共生型の介護施設は大丈夫か。

田村健康福祉課長 利用者についてはその移行が滞りなく進んでいると聞いている。

本来、採算の合わないような事業は、社協に担ってもらうところではある。事業の廃止をもって、直ちに存在意義が問われるものではない。

新施設については研修で人材育成すると聞いているので、特に心配はしていない。



橋元 陽一 議員

新産廃選定 公平公正か

町長 妥当だと考える

選定委員会の議事録に「選定エリアを1時間」とした議論の記録はない。委員長が「概ねこんなものかな」の一言で承認。これで公平公正な選定といえるか。



舞い上がる廃石こうボード

この声を裏付けることにならぬか。予定地に致命的な問題が見つければ、知事は中止もあると発言した。町として、独自に検討委員会を立ち上げる計画はないのか。

堀見町長 高知県の実情に応じ、1時間を設定し了解したこと、その決断は妥当だと考える。消費者団体の代表などを含む選定委員会が佐川町加茂ありきで進めたいは考えられない。現時点で、検討委員会を立ち上げることは考えていない。

住民アンケートで 了解を

町長 考えていない

県は「地元住民に了解をいっただいて建設予定地を決定する」と表明したが、了解を求めることは

一度もなかった。このことに対する見解は。住民の了解を求める手だてとして、加茂地区の18歳以上の有権者にアンケート調査を町でやってほしい。

堀見町長 知事が5月31日、私と議長に施設受け入れの申し入れをしたことで、了解してほしいと依頼したと考える。町独自でアンケート調査を開催することは現時点で考えていない。

新図書館建設の 構想は

町長 複合施設として想定



新図書館建設予定地

新図書館建設に向けて、課題は何だったのか。建設予定地、建物の構想、予算規模は。また建設に向けたスケジュールは。堀見町長 さかわ未来学の方向性を定めて、知の拠点としての図書館のあり方を探ってきた。旧細木木材跡地に2千㎡程度の複合施設として、8億から10億円の予算規模を想定している。

川井教育長 本年度中に青山文庫と歩調を併せて基本構想を策定。令和2年度に基本計画を策定し、令和3年度に基本設計、実施計画を策定し、令和4年度に建設工事に着手。令和5年度開館をめざす。

その他の質問
町営住宅の入居条件の改善について



森 正彦 議員

認知症対策 予防と共生の 仕組みづくりを

健康福祉課長 取り組みを推進



みんなで集って認知症予防（黒岩あったか）

認知症高齢者が増加している。認知症の予防、そして発症後も住み慣れた地域で暮らせる地域づくり、この予防と共生の仕組みをつくっていくべきだ。

田村健康福祉課長 あったかふれあいセンター等と連携し、センターの集い、相談、訪問、つなぎ、生活支援、送迎の機能を活用しつつ、多様な介護予防や健康づくりに関する取り組みを進めている。今後世代を超えて町民全体が助け合う地域共生社会の実現に向けた、公助と共助が連動した取り組みを推進していきたい。

堀見町長 いろいろな方のご支援、ご協力を頂いて佐川町の皆さんが豊かで笑顔で幸せに暮らせる、そんな町を一緒に作ってきたい。

新規就農対策

テスト就農ハウスを

産業建設課長 今後具体的に検討



育ってほしい農業担い手

新規就農には相当の資金が要る。当町でも、希望者が1年、2年農業経営をして本格就農するが確かめるための、テスト就農ハウスを設置してほしいか。

田村産業建設課長 安定して担い手を確保する基盤づくりも必要であると考えている。就農希望者が挑戦しやすい仕組みとして、テスト研修ハウスは有効であると考えており、受け入れ体制から販売まで総合的にサポートできる仕組みづくりについて、今後具体的に関係機関と検討していきたい。

堀見町長 農業に限らず、林業も、商工業もそれぞれにチャレンジしたい人の思いの強さが一番大切だと思っている。その上で町としてはしっかりと町ができる支援をしてサポートしていく。





中村 卓司 議員

休耕田対策は どうなる

産業建設課長 交付金制度で対応

町内では、農業者の高
齢化により、休耕田が増
え、農業後継者が不足し
ている。
その対策として、農業
法人でその対応はできな
いか。

田村産業建設課長 ほ場
整備をしたところでも、
休耕田がはじめている。
特に山間地では、増えて
いる状況である。
町としては集落への直
接支払い交付金制度で耕
作放棄地にならない取り
組みを行っており、今20
組織くらいある。
また新規就農者を増や
す為には協力隊の農業候
補生の受け入れを行って
いる結果として、耕作放
棄地を防ぐというような
形を続けていきたい。

遅れている道の駅事業 進捗状況は

チーム佐川推進課長 場所選定困難

道の駅事業の候補地選
定は、約束された時より、
遅れている。
今の進捗状況と内容の
検討はどのようにされて
いるか。
岡崎チーム佐川推進課長
検討委員会で出された建
設場所の2カ所とも、話
を進めることが困難な状
況である。執行部で適地
を検討している。

道の駅の基本構想委託
料は本年度に予算計上し
ている。具体的には専門
家のアドバイスを頂く事
で、基本構想を年度内に
策定する。
堀見町長 佐川町の道の
駅は運営、経営に直接的、
間接的に関わる皆さんの
意見を集約し、機運を高
め、運営の体制をつくる
ことが大切だ。町民から
参加したい人がいないと
いうことであれば道の駅
はとてもできない。
場所は年度内に決定し
たいと考えている。



高齢化で農地の管理も大変

町社協 利用者は大丈夫か

健康福祉課長 混乱なく移行

社会福祉協議会の職員
が多く退職されたが、介
護での利用者が影響を受
けることはないのか。

田村健康福祉課長 介護
職員の退職により、訪問
介護事業、入浴事業など
6つの事業の継続が困難
となる。その事業は6月
末で廃止となる。現在の
利用者には不利益となら
ないように個別に訪問
し、経過を説明し、事業
所への移行説明も行って
おり、混乱なく、移行作
業が進んでいる。
新しく立ち上がった会
社で同じようなサービス
をしていくと聞いている。



多くの職員が退職した社協



下川 芳樹 議員

5月31日に知事より産廃施設受け入れの依頼書とともに確認書の素案が提出された。この確認書は佐川町が県の申し入れを受け入れた後に、最

産廃施設受け入れなら 確認書しっかりと

町長 責任あるまとめ方で回答

最終的な文案を決定するとの記載があった。

受け入れ決定後の確認書締結には不安がある。産廃受け入れなら、確認書の内容は地元の不安が解消でき、後々の管理ができるように町長としてしっかりとやってほしい。

堀見町長 確認書を締結する事態になれば、責任をもって住民の考え、議会の考えも確認しながらしっかりと責任のあるまとめ方をし、回答していきたい。



安全・安心な施設建設を

国保税

抑制の方向は

町民課長 健康寿命を保つ取り組みを

国民健康保険加入者は経済的にも弱者が多い。毎年税が上がると生活に支障をきたす要因となる。

健康を奨励することで被保険者自らが保険税を抑制するという方向についてどのように考えているか。

和田町民課長 国保の年齢的な構造も含めて、短期間で医療費を下げることは難しい。

個人で取り組めることは健康づくり、特定健診等受診し、健康寿命を保つてもらうことが大事だ。今後これらを取り組んでいきたい。

自伐型林業の

現状は

産業建設課長 8名が定住し生計を

平成25年度から地域おこし協力隊を導入して、自伐型林業に取り組むことで山への基盤整備が徐々に進んでいる。これらに係る協力隊員が、定住後どのような形で自伐型林業に取り組んでいるのか。行政の支援や経済的な自立についての現状を問う。

田村産業建設課長 平成28年度採用の5名は、佐川に2名、黒岩に2名、尾川に1名定住している。うち3名は法人化を、残り2名は一人親方として林業に従事する予定である。また、平成29年度までに卒業した3名も副業を交えて林業従事者として生計を立てている。堀見町長 佐川町ほど、林地の集約から卒業後の支援を含めて対応している市町村は他にない。



自立して活動する卒業生



宮崎知恵子 議員

不登校児童・生徒 対策はできているか

教育長 取り組んでいる

学校、教育委員会、教育研究所、集会所での不登校児童、生徒への連携・対策は。

川井教育長 不登校対策については年間の重点行動計画を定め、6点を掲げ、学校と教育研究所が連携し進めている。

①教員の子供理解への促進、②学校経営の改善、③授業改善、④保小中の連携強化、⑤教育相談員、臨床心理士による教育相談の充実、⑥不登校になった児童生徒に対し教育集会所における支援、そういったものの充実に取り組んでいる。



学校現場を支える教委事務局

安全運転サポート車 補助金制度導入を

総務課長 考えていない

安全サポート車の購入補助制度について聞く。高齢者のブレーキとア

クセルの踏み違いによる事故が多発している。佐川町でも、移動手段として、車の必要性がある。奈半利町では補助金制度が設けられた。佐川町での取り組みはどうか。

麻田総務課長 先進安全技术が一定の性能を有していることを国が確認し、その結果を公表する制度の動向を引き続き注視しつつ、交通安全対策を考えていく。

サポート車購入の補助は現在のところ考えていない。

町有墓地公園 管理状況は

総務課長 必要に応じて実施

墓地公園の管理状況について聞く。
周辺の草刈り、ごみ処理はどうか。定期的に現地に行っているか。残土の区画、使用料のお知らせはしているか。



高齢者の交通事故が増加

麻田総務課長 年2回草刈りを実施している。その際ごみの収集も行っている。必要に応じて適宜修繕も行っている。

墓地は全282区画あり、現在21区画残っている。残りの区画のお知らせは広報、ホームページ等に周知させたい。1区画35万円の使用料で永久に使用することができ

《 住民の中へ・・・地区別に議会懇談会を開催 》

議会懇談会報告

5月8日から5月20日にかけて、町内の5地区で議会懇談会を開催しました。

今回から座談会方式とし、5つのテーマをもとに住民の方々の意見や要望をお聞きしました。皆さんから出された意見をご紹介します。



懇談会の様子

議員のなり手不足

- ◎ 議会・議員の魅力アピールすることも大事
- ◎ 議会・議員で議員後継者を育てるべき
- ◎ 世代間の交流必要
- ◎ 兼業規定の緩和を検討しては
- ◎ 議員の活動が見えない
- ◎ 定数減が望ましい
- ◎ 定数を減じて報酬をあげてはどうか

図書館

- ◎ 少数でも、質の問題
- ◎ 若い世代が立候補できるように報酬あげるべき
- ◎ 最低でも25万円くらい必要
- ◎ 文教のまち佐川にふさわしいものを
- ◎ 青山文庫との合築を
- ◎ 図書館と青山文庫別に
- ◎ 町民の意見を聞いて
- ◎ バリアフリーに
- ◎ 使い勝手大事、長く活用できるものを
- ◎ 子どもの遊ぶエリアも欲しい
- ◎ 観光にもなるものを
- ◎ 青山文庫には注目する資料がたくさんある
- ◎ 展示面積を増やす
- ◎ 発明ラボと一緒にするのは無理がある

道の駅

- ◎ 佐川が栄えていくために必要。トイレや食事場所大事
- ◎ 賛成作ってほしい
- ◎ よそにないわざわざ来る道の駅を
- ◎ 特徴のある出品内容を

- ◎ 地場産センターの二の舞にならぬよう、よそにないものを作って
- ◎ 日高や越知にある。共通倒れになるのでは
- ◎ 佐川には特産品がない
- ◎ 売れるものがあるのか
- ◎ 周りがあるので佐川にはいらない
- ◎ 図書館と一緒に作ってはどうか
- ◎ 災害時の避難場所としての機能を
- ◎ 青山文庫と一緒にして



現在の町立図書館

産廃

- ◎ 施設は必要なもの。生産性もある
- ◎ 別にやってもかまわない
- ◎ 臭くもない



かわの駅 おち

- ◎ 振興策があるからいいのでは
- ◎ 問題が起きた時の対策について県と文書で確認する
- ◎ シートの耐用年数は50年過ぎたらどうか
- ◎ 有害物質は含まれるか
- ◎ 漏れないと言っても心配。養豚場の事もある
- ◎ 屋根をのけたらダメ
- ◎ 高知市で排出されるものがほとんど。高知市に作れ
- ◎ 議員はなぜ賛成か。長竹はほとんど反対
- ◎ 石灰岩の山、大丈夫か
- ◎ 原発の除染済みまで引き受けることとならないか
- ◎ 日高や土佐市も関係する。説明が必要
- ◎ 下の防水シート、水が上がる危険性は
- ◎ 地域の人たちの気持ちが大メインだ
- ◎ アスベストは発がん性物質で危険だ
- ◎ ポーリング調査が後回しになった理由は
- ◎ 田を作っているので心配。修復はどうなる
- ◎ 車が増える、信号機を
- ◎ 下流の水も検査を
- ◎ リサイクルを進めては
- ◎ 決めたら特別予算が下りるか
- ◎ 決定すれば河川改修をやりませう、そんなのはおかしい
- ◎ 作る時には条件を付けてはどうか
- ◎ 長竹川の改修を
- ◎ 西バイパスを佐川まで延伸して
- ◎ 振興策の予算、佐川のメリットについて知りたい
- ◎ 交通の流れが悪い。国道をなんとかして

《 住民の中へ・・・地区別に議会懇談会を開催 》

その他

黒岩

- ◎光ネット配信の充実
- ◎4月あるいは連休中の子供の居場所を
- ◎柳瀬川改修、後押しを

佐川

- ◎防犯灯 新設のとき2万円は少ない
- ◎カーブミラー、防犯灯を町道に設置するのに道路占有許可がいる

加茂

- ◎若者住宅を加茂にも
- ◎県道297号線の工事早くつて

尾川

- ◎川の葦をなんとかして
- ◎職員は地元のことを知らんといかん

斗賀野

- ◎校門付近での子どもの車の乗り降りは危険だ
- ◎不審者がいる。子どもの見守りを

- ◎老人憩いの家耐震化を
- ◎町道の補修必要

産廃施設

議会から県への回答書の全文をご紹介します。



日高エコサイクル視察

新たな管理型産業廃棄物最終処分場の施設整備の受け入れについて（回答）

令和元年5月31日付元高環対第254号で依頼がありました新たな管理型産業廃棄物最終処分場の施設整備の受け入れにつきまして、佐川町議会6月定例会会期中の6月7日、6月12日に議員全員協議会を開催し、議会としての判断を検討いたしました。

これまで議員から意見や質問が出されておりました施設の安全性や維持管理体制、地域振興策につきましては、開催された説明会や今回添付していただいた確認書（素案）で概ね反映されていることが理解できました。加えて本施設の公共性や必要性の高さも考慮し、多数の議員は施設整備の受け入れに賛成の意思表示をいたしました。

一方で、住民の中には、将来に向けて施設の安全管理体制、水質や環境面での安全性、大規模災害時の安全対策、遮水シートの耐久性、基準に適合したものの以外の廃棄物の搬入等の不安の声や、地元住民の意思表示の場を設定すべきである、といった意見も出されております。

事業を進めていく上で、施設の安全性、維持管理体制はもとより地域振興策の計画策定等について、今後、高知県と佐川町で締結される確認書及び協定書の中で明示していただき慎重で誠意ある対応をしていただきますことを前提に、佐川町議会といたしまして、施設整備の受け入れ依頼に対しまして、受諾いたします。

あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ

No.49



防犯カメラ設置必要

(平成29年9月定例会)

町内の各所に、防犯カメラを設置し、犯罪予防、犯罪捜査の手助けとすべきだ。

(片岡議員)

〈関連質問〉(西森議員 坂本議員)

総務課長 答 弁

検討する

街頭への防犯カメラは、町単独での実施は考えていないが、住民からの要望があれば、補助金を活用して設置に向け、検討する。

4カ年計画で進めていく

平成31年度当初予算に町内4カ所計上。今後も自治会の意見を反映し4カ年計画で取り組みを進めていく。

どう
なった

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月6日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

編集 後記

令和の時代が幕開けしました。議会広報にとっても令和初めての発行となります。

議会広報は事実を正確にわかりやすく、公平・公正に伝えることが使命です。ところが間違いがあつて訂正記事を出すという失態がありました。

そこで今回から、広報の原稿を町執行部にも確認してもらい、間違いはないか、答弁の意向と違ってないかチェックしてもらおうこととしました。より正確に、公平・公正をめざして編集していきたいと思えます。

お叱りの言葉は私たちにとってよりよい紙面作りの糧となります。これからもあなたの声をお聞かせください。

坂本 玲子

議会広報編集委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
下川 芳樹	西森 勝仁	坂本 玲子	宮崎知恵子	橋元 陽一

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

地域で がんばる

牧野公園はなもりC-LOVE

今回は、牧野公園で活躍する「牧野公園はなもりC-LOVE」の皆さんにお話を伺いました。



お話を伺った皆さん

—今をときめくチューモクの、はなもりC-LOVEですが、この活動のきっかけは何ですか。

牧野富太郎博士生誕150周年をきっかけに、リニユール10カ年計画ができ、活動が始まり、平成26年に発足しました。

—クラブの代表者は。

代表者はいませんが、イベントの都度、実行委員会を立ち上げて運営しています。

—住民・行政・観光協会など大所帯で大変と思えますが。

約50人が活動しています。大変ですが、立場の違うメンバーが集まり、月1回連絡会を開いています。7月で62回になりました。公園が佐川の宝物として輝きを増すよう、ワイワイと意見を調整しながらやっています。

楽しそうな作業風景



—どんな作業をしていますか。

毎週水曜日の9時から11時30分まで、草引きや植栽、種まきなどをして年中楽しめる公園作りをしています。今では、3百種を超える山野草があります。

—だれでも参加できますか。

だれでも参加できます。現に、町外の方もいますし、熱い思いを持った方もいれば、ちょっと参加してみたいなという方いろいろいます。

—これからの抱負を聞かせてください。

このクラブのモットーは誰もが楽しみながら自由に参加できることです。

牧野博士ゆかりの山野草を育てながらみんなから愛される公園づくりが次の世代にも続いていくといいなと思っています。

以前、私たちが牧野公園を訪れたときはスツポン違い、今ではキレングシヨウマヤガンゼキラなど、たくさん植栽されています。

また、公園の片隅でもムカデランなどの本場に小さな植物たちがニコニコしながらひと際大きく輝いていました。

さらに、スタッフの方々の遊び心も随所に見られ、フクフクする公園となっています。

これからもみんなで盛り上げていきたいものです。



小さな小さなムカデラン

あなたの周りに佐川の町の元気のために活躍されている「組織やグループ」をぜひ紹介してください。